

出題範囲:不定詞(名詞的・形容詞的・副詞的)・比較(比較級・最上級・as～as)(中2・2学期)	時間:45分	難易度:基礎
--	--------	--------

このテストのストーリー あなたの家に、オーストラリアの大学生 Jack(ジャック)がホームステイに来ました。Jackは日本のことをもっと知りたがっています。おすすめを比べて提案し、したいことを聞き、お店を選び、行きたい場所を伝える――すべての問題が「Jackに日本を案内するための英語」です。

※設計サンプル(ひな形)です。Word版で自校の範囲・固有名詞に差し替えて使えます。ヒントを使ってよいので、まず全問に手をつけよう。

大問1 リスニング Jackの自己紹介と、週末の相談の対話を聞いて答えよう。 知技・思判表 /20点

場面 ホームステイ初日。Jackが自己紹介の音声メッセージを送ります(Part A)。そのあと週末の予定を相談します(Part B)。あなたはメモを取りながら聞いています。放送はそれぞれ2回流れます。

Part A Jackの自己紹介の音声メッセージを聞いて、メモの空らんを日本語で埋めよう。(各2点)

Jackがしたいこと(文化)	(①)	Jackの好きな食べ物	(②)
Jackが訪れたい場所	(③)	いちばんわくわくすること	(④)

⑤ メッセージを聞いて、あなたがJackにおすすめしたい場所や食べ物を英語で答えよう。(3点) 書き出し:You should _____.	
---	--

Part B Jackと週末の予定を相談しています。対話を聞いて答えよう。((1)～(3)各2点)

(1) 2人が行くことにした場所はどこですか。	()
(2) その場所を選んだ理由に合わないものはどれ? ア 近い イ 鹿がいる ウ 混んでいない エ いちばん有名	()
(3) その場所への行き方は何ですか。	()
(4) この対話のあと、Jackがいちばんしたそうなことはどれ?(3点) ア 鹿にエサをやる イ バスに乗る ウ 寿司を食べる	()

大問2 文法・語い チャットと希望メモが成り立つように、()の英語を完成させよう。 知識・技能 /20点

場面 ホームステイ中のJackと、日本のおすすめについてメッセージのやり取りをしています。

Jack: I came to Japan(①)learn about its culture.
You: Then visit Kyoto! It's (②) than Tokyo.
Jack: Is Kyoto(③)big as Tokyo?
You: No, Tokyo is bigger. But Kyoto has many temples(④)see.
Jack: Nice. I also want(⑤)eat Japanese food.
You: Sushi is the (⑥) food to try first!
Jack: Which is(⑦), sushi or tempura?
You: For me, ramen is(⑧)delicious than both!

語群(選んで書こう。同じ語を2回使うことも):to / as / more / older / better / best / harder / highest チ
ャット①～⑧・メモ⑨⑩の10か所(各2点)

つづけて、Jackの希望メモです。(各2点)

Jack wants(⑨)climb Mt. Fuji. / Mt. Fuji is the (⑩) mountain in Japan.

①		②		③	
④		⑤		⑥	
⑦		⑧		⑨	
⑩					

大問3 場面のやり取り Jackとの生活。それぞれの場面に合う英語はどれ？ 思・判・表 /10点

場面 ホームステイ中のJackと、いろいろな場面で英語をやり取りしています。

場面に合う英語を選ぼう。(各2点)

(1) Jack: "Which do you like better, summer or winter?" 「冬より夏が好き」と答えるなら？ ア I like summer very much. イ I like summer better than winter. ウ Summer is the best season.	()
(2) Jackを週末に映画にさそいたい。「映画を見に行かない？」と言うなら？ ア Did you see a movie? イ I want to see a movie. ウ Do you want to see a movie?	()
(3) 「日本語を練習するために、ぼくは毎日日記を書いているんだ」と伝えるなら？ ア I want to practice Japanese. イ I write a diary every day to practice Japanese. ウ Writing a diary is fun.	()
(4) Jackの話が少し速くて聞き取れませんでした。ゆっくり話してほしいときは？ ア Could you speak more slowly? イ I can't speak English. ウ That's all right.	()
(5) Jackが上手に日本語であいさつしました。ほめる一言は？ ア I'm sorry. イ You're welcome. ウ Your Japanese is getting better!	()

大問4 資料の読み取り 2つのランチ店のチラシを読んで、Jackの店えらびを手伝おう。 知技・思判表 /20点

場面 Jackとお昼を食べに行きます。近くに2つのお店のチラシがあります。

Sakura Ramen Price: 800 yen From your house: 5 min. walk Rating: ★★★ Hot ramen! Fast and friendly.	Ocean Sushi Price: 1,500 yen From your house: 15 min. walk Rating: ★★★★★ Fresh sushi from the sea.
--	--

Jackのメッセージ "I want to eat something cheaper and closer. I have only 40 minutes for lunch!"

(1) チラシから読み取ろう。(各2点) ① サクラ・ラーメンの値段は？	(円)	② サクラ・ラーメンまで歩いて何分？	()分
③ オーシャン・スシの評価は星いくつ？	星(つ	④ オーシャン・スシの値段は？	(円)

(2) Jackのメッセージに合うお店はどちら？(記号2点) A Sakura Ramen B Ocean Sushi	()
そう考えた理由に合うものは？(3点) ア Jackは「もっと安くて近い店がいい・昼は40分だけ」と言い、ラーメンは800円で歩5分と安くて近い イ 寿司のほうが評価が高いから ウ ラーメンは温かいから	()
(3) もう一方のお店(寿司)を次の機会にすすめる一言は？(3点) ア 時間があるときなら、評価の高い新鮮な寿司を食べられる イ 寿司の店はもうないので行けない	()
(4) Jackにラーメン店をすすめる英語として合うものは？(4点) ア Sakura Ramen is cheaper and closer. Let's go there for lunch! イ I ate sushi yesterday. ウ Ramen is a Japanese food.	()

大問5 読解 2学期に学習した教科書の文章を、もう一度読んで答えよう。 知技・思判表

／20点

場面 Jackに「日本の教科書ではどんな文章を読むの?」と聞かれました。内容を思い出しながら読み直します。

▼ 本文貼り付け枠(Word版で、2学期に学習した教科書の本文・説明文をここに貼り付け)

問1 この文章に合うタイトルを選ぼう(選択肢は本文に合わせて先生が作成)(3点)	()
問2 本文の内容と合っていれば○、ちがっていれば×を書こう。①～④(各2点)	①()②() ③()④()
問3 下線部の語の意味として合うものを選ぼう(3点)	()
問4 筆者の考えとして合うものを選ぼう(3点)	()
問5 本文のテーマについて、あなたの考えを英語で書こう(3点) 書き出し:I want to ____.	

大問6 ライティング Jackに、2つを比べておすすめの方法や食べ物を提案しよう。 知技・思判表

／10点

場面 Jackが「休みの日にどこかへ連れて行ってほしい」と言っています。あなたはJackに、2つの候補を比べて、おすすめの方法(または食べ物)を提案するメッセージを書きます。

条件 ①2つを比べる文(比較級・最上級・as～as)を1つ ②してほしいこと・したいこと(不定詞)を1つ
書き出しヒント: __ is __ than __. / I want to take you to __.

3文以上。Jackが「行きたい!」と思えるように書こう。

評価の目安(10点)	内容(条件を満たし、Jackに伝わるか)…6点 + 英語(語数と正確さ)…4点

書き終わったら見直しチェック ☐ 大文字・小文字 ☐ 文末のピリオド／? ☐ 形(比較級-er・最上級the -est・more/most・as～as／不定詞to＋動詞の原形) ☐ 読む相手(Jack)に伝わる内容か

1 テスト設計表(何を・どの場面で・どの観点で測るか)

作問はこの表から始めます。大問を作ってから観点を後づけするのではなく、測りたい力に場面を与えるのが順序です。観点の配点バランスは 知識・技能 53点／思考・判断・表現 47点(学年進行で思判表を上げる。比べて選び、理由を添えて提案させる場面を増やしている)。

大問	場面・課題	測る力	観点	配点
大問1	ホームステイの客の自己紹介(したいこと・好み)と週末相談の対話を聞く	希望・比較の聞き取り(知技)／状況からの判断・自分のおすすめを書く(思判表)	知技・思判表	20(2点×7・3点×2)
大問2	ホームステイの客とのチャット・希望メモが成り立つように語・語形を判断する	文脈の中で不定詞(3用法)・比較(比較級・最上級・as～as)を正しく使う	知技	20(2点×10)
大問3	日常の場面(好みの比較・さそい・目的・聞き返し・ほめる)で適切な応答を選ぶ	目的や場面、状況に応じて表現を選択する	思判表	10(2点×5)
大問4	2つのランチ店のチラシを読み、客の希望(安い・近い)に合う店を選んで伝える	資料の読み取り・比較(知技)／情報を結びつけて判断し、英語で伝える(思判表)	知技・思判表	20(2点×4・3点×2・4点×1)
大問5	教科書の説明文(貼り付け枠)を「要旨→事実→語句推測→筆者の考え→自分」の5層で読む	概要・要点の把握、語句推測(知技)／筆者の考えの理解・自分の考えの表現(思判表)	知技・思判表	20(2点×4・3点×4)
大問6	ホームステイの客に、2つを比べておすすめを提案するメッセージを書く	比較と不定詞を使い、条件に沿って読み手を意識して書く(評価規準・評価基準は次ページ)	知技・思判表	10(知技4・思判表6)

2 リスニング台本(2回読み・自然な速さで)

(2sec)(3sec)はポーズの秒数です。ALTに依頼する場合はこの台本をそのまま渡せます。

Part A(Jackの自己紹介の音声メッセージ)
Hi, I'm Jack from Australia. Thank you for having me at your home. (3sec)
I came to Japan to learn about its culture. (2sec)
I love Japanese food. For me, ramen is more delicious than pizza! (3sec)
I want to visit many old temples. (2sec)
The most exciting thing for me is to see Mt. Fuji. (3sec)
Let's have a great time together! (2sec)

Part B(週末の予定の対話)
Jack: I have only one free day. Which is better, Kyoto or Nara? (2sec)
You: Kyoto is more famous, but Nara is closer. Nara has friendly deer. (3sec)
Jack: Deer? I want to see them! Is Nara as crowded as Kyoto? (2sec)
You: No, Nara is less crowded. It's easier to walk around. (2sec)
Jack: Then let's go to Nara! What's the best way to get there? (2sec)
You: By train. It's faster than the bus. (2sec)
Jack: Great. I really want to feed the deer! (2sec)

3 解答例・許容範囲

大問1	A:①日本の文化を学ぶ(体験する) ②ラーメン(ピザより好き) ③たくさんの古い寺 ④富士山を見る ⑤例:You should visit Kyoto. It has many temples.(発展版は2文目に比較や理由があれば満点) B:(1) 奈良 (2) エ (3) 電車 (4) ア
大問2	① to ② older ③ as ④ to ⑤ to ⑥ best ⑦ better ⑧ more ⑨ to ⑩ highest ※①④⑤⑨は不定詞のto(副詞的・形容詞的・名詞的)。②older・⑩highestは比較級・最上級、⑥best・ ⑦betterはgoodの不規則変化、⑧moreは more delicious の more、③はas～asのas。許容解は採点前 に決めて採点者間でそろえる。
大問3	基礎・標準版:(1) イ (2) ウ (3) イ (4) ア (5) ウ / 発展版(好みの比較の場面を除く4問):(1) ウ (2) イ (3) ア (4) ウ
大問4	(1) ①800円 ②5分 ③星4つ ④1,500円 (2) A / 理由:Jackは「もっと安くて近い店がいい・昼は40分だけ」と言い、ラー メンは800円・歩5分で安くて近い(メッセージとチラシ両方への言及で満点、片方のみ部分点2点) (3) ア (4) ア(英文として伝わる=2点+情報が適切=2点)
大問5	貼り付けた本文に合わせて作成。問1の誤答は「話題は同じだが要旨とずれるタイトル」を2つ。問2の×文は本文と1か所だけ変え る。問3は未習語・派生語を下線に。問4は考えの手がかり語を決めてから採点する。

4 ライティングの評価規準・評価基準(作問時に確定＝採点のブレを防ぐ)

評価規準(のりじゅん)＝「おおむね満足できる」状況(B)を文章で決めたもの。評価基準(もとじゅん)＝a/b/cの段階と点数の物差し。国立教育政策研究
所の参考資料の様式に合わせ、作問時にこの2つを確定してから出題します(採点のブレを防ぐ＝信頼性)。

評価規準(B)	ホームステイの客におすすめを提案するという目的に応じて、2つを比べた文(比較)と、したいこと・目的 (不定詞)を、意味の伝わる英文で書いている。	
	思考・判断・表現(内容の適切さ)…6点	知識・技能(語数・正確さ)…4点
a	条件をすべて満たし、読み手(Jack)が行きたくなる工 夫がある …6点	指定の語数を満たし、比較・不定詞の形の誤りがほとん どない …4点
b	条件をすべて満たしている …4点	誤りが一部あるが、理解に支障はない …3点
c	条件の一部を満たしていない …2点	語数不足、または支障のある誤りがある(伝えようとは している) …1～2点

・「主体的に学習に取り組む態度」はテストでは点数化せず、思判表と一体的に見る(国研参考資料の立場)。・条件に「比較級を使って」等の言語材料の指
定はしない。「2つを比べておすすめ」という内容条件が比較・不定詞の使用を自然に促す(提示がない状況で使えるか＝技能の評価)。・cの生徒への手
立て:返却時に条件チェック表で自己点検→書き直し提出で再評価。減点でなく「できていることを数える」加点で運用。

5 自校仕様へのカスタマイズ(Word版)

固有名詞	Jack を自校のALTや実在の交流相手に、店・場所を自校の地域のものに差し替える(問いの型は変えない)。
範囲の調整	最上級が未習の学校は、大問2の⑥⑩を比較級(good→better、high→higher)に差し替える。動名詞も範囲な ら、大問3や大問6に enjoy ～ing の文を1つ加えてもよい。
大問5の本文	2学期に学習した説明文・意見文を貼り付け、問1のタイトル選択肢(正解1＋要旨とずれる誤答2)、問2の○×文、問 3の下線語、問4の考え設問を作る。
リスニング	Premium音声(英検方式の全英語進行・各2回読み・解答ポーズ入り)をそのまま再生して実施できる。自前で実 施する場合は台本2本をALTに渡して録音、またはその場で読む(各2回・自然な速さ)。時間の目安はリスニング 10分・大問2～5で25分・ライティング7分・見直し3分。
配点の調整	知技小問2点・思判表3点・応用4点・ライティング10点の刻みを保つと1問の重みが大きくなりすぎず、観点別の集 計も簡単。学年が上がるほど思判表の比重を上げる。

